

医学研究に関する情報公開および 研究協力へのお願い

福井大学医学部附属病院第一外科では、福井大学医学系研究倫理審査委員会の承認および医学系部門長の許可を得て、下記の医学研究を実施しています。

こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、本研究では既に匿名化された試料・情報を用いるため、個人を特定してデータを除外、削除する事はできませんのでご了承ください。その他研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。

福井大学医学部附属病院 第一外科

承認日:2023年3月2日

ver.1.0

【研究課題名】

穿孔性大腸癌の治療戦略

【研究期間】

研究機関の長の許可日～2025年12月31日

【研究の意義・目的】

大腸穿孔は急性汎発性腹膜炎を呈し死に至る危険を伴う重篤な疾患です。なかでも、大腸癌に伴う大腸穿孔は救命にはもちろん癌の根治性も視野に入れた治療を行う必要がある特殊な病態にあります。近年は、治療の発展に伴い大腸穿孔症例の救命率も高まっており、大腸癌穿孔症例に対する治療も、救命、癌の根治性、機能温存(人工肛門造設の有無)などの観点から総合的に考える必要があります。当科で治療を行った患者さんのデータを調査することとで、今後の大腸癌穿孔症例に対する治療戦略を考察します。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方

大腸癌穿孔の患者さんで、2000年1月1日から、2021年12月31日の間に、手術を受けた方。

2. 研究に用いる試料・情報

性別、年齢、癌の占拠部位・進行度、穿孔部位・形態、術式、手術時間、出血量、輸血量、病理組織学的所見、人工肛門の有無、化学療法の内容、術後在院期間、合併症、死亡率、再発の有無、生存期間、再発の状況、人工肛門の閉鎖状況、など。

なお、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、個人を識別できる情報は削除し、公表しません。また、取り扱う試料・情報は厳密に管理し、漏洩することはありません。

3. 研究の方法

診療録を用いて上記項目を集積し、大腸癌穿孔の病態や治療内容、予後を解析し、治療戦略を考察します。

【利益相反について】

利益相反とは、外部との経済的な利益関係(資金提供など)によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないのではないか(企業に有利な結果しか公表されないのではないか)と第三者から懸念されかねない事態のことをいいます。

この研究は、特定の企業や団体から研究資金や給与・謝金など、特別な便宜を受けていないことを福井大学臨床研究利益相反審査委員会に全て報告し、利益相反状態でないと判定されています。研究を公正に遂行し、対象となる方に不利益になることや、研究結果を歪めることは一切いたしません。

【研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法】

本研究では、研究計画書及び研究の方法に関する資料に関しては、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り入手又は閲覧が可能です。その入手・閲覧をご希望される際には下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

【個人情報の開示等に関する手続き】

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

《福井大学における個人情報保護について》

http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/disclosure/privacy/

【本学における研究責任者】

福井大学医学部附属病院第一外科

助教 森川 充洋

【本研究に関する問い合わせ窓口など】

○問い合わせ窓口

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院第一外科

助教 森川 充洋

電話:0776-61-3111(内線 2343)

FAX:0776-61-8113

E-mail: mmitsu@u-fukui.ac.jp

○ご意見・苦情窓口

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院医学研究支援センター

電話:0776-61-8529

受付時間:平日 8:30~17:15(年末年始、祝・祭日除く)